



# センサで見守る健康と生活

道総研

北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場

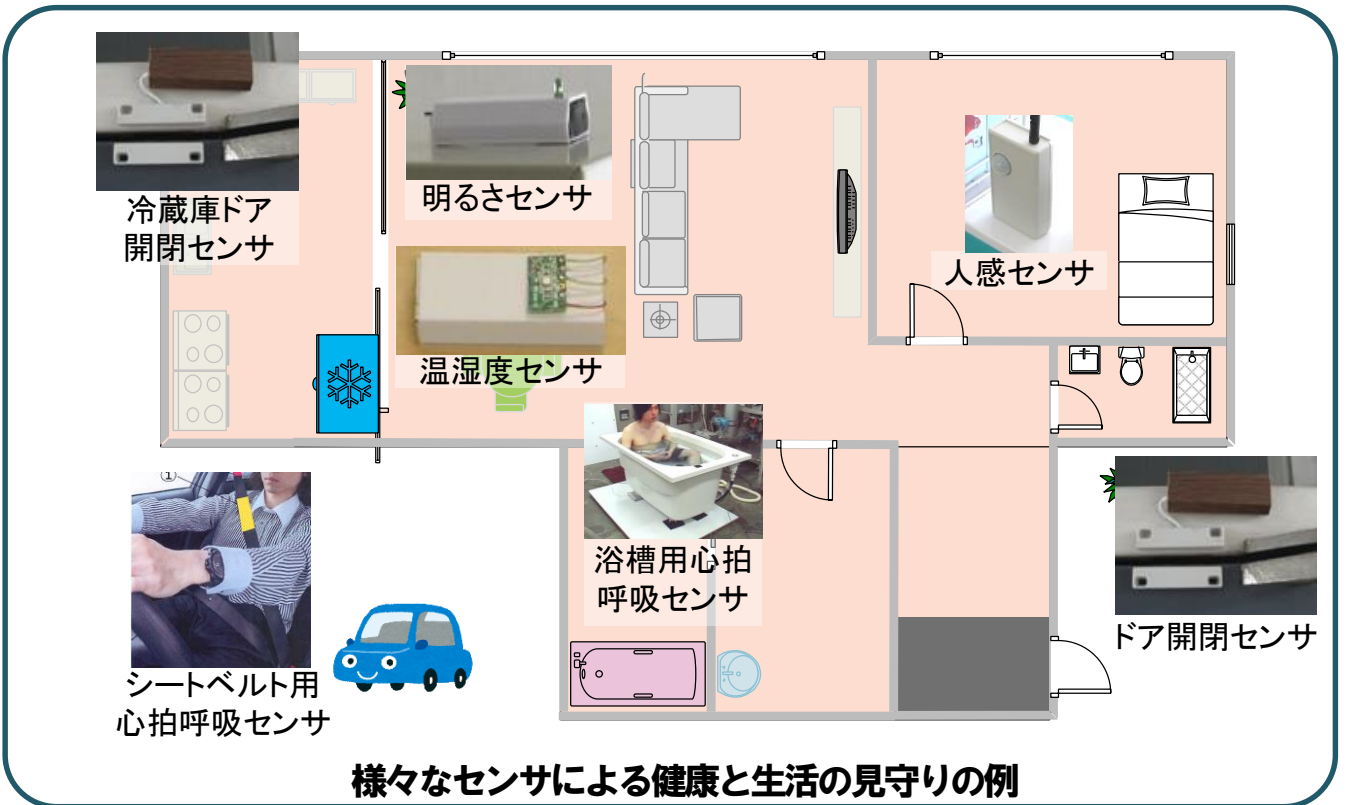
## ●「見守り」の定義

「必要な介助、支援ができるような体制を整えて、意図的に対象の行為や様子を観察すること」（看護行為用語分類、日本看護科学学会）

## ●センサを活用した見守り

スマートホンの普及と相まって、センサは急激に発達しました。その恩恵は、私たちの健康と生活にも及んでいます。見守りについていえば、カメラや人感センサによる「行動の見守り」から、心拍や呼吸といった体が出すシグナルを生体センサによって測定するより高度な「健康の見守り」へと、変化しつつあります。

例えば入浴では、これまでは入浴中に体調が急変しても発見は困難でしたが、「浴槽用心拍呼吸センサ」が開発されたことで、自動通報や排水が可能となりました。この他にも、シートベルト型センサによる車の運転中の体調見守りや、心電センサによる乳牛の見守りなど、様々な場面で応用されています。



## ●北海道でこそ効果が高いセンサ見守り

北海道は自然が豊かな素晴らしい土地ですが、家々の距離が離れており、見守りがしにくいところでもありました。離れていても誰かとつながりつつ健康を見守れる「センサ見守り」は、北海道でこそ効果を発揮します。